

スクラムで推進する子どもの育成 2019年度

御前崎市教育委員会 学校教育課

平成30年度全国学力・学習状況調査から見る御前崎の子どもたち

教科		小学校	中学校
国語	A	△	○
	B	△	○
算数 数学	A	△	○
	B	△	△
理科		△	○

○全国平均とほぼ同じ △全国平均よりやや低い

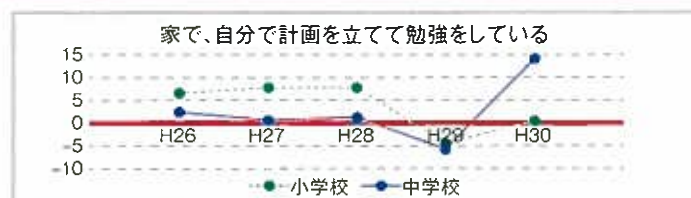
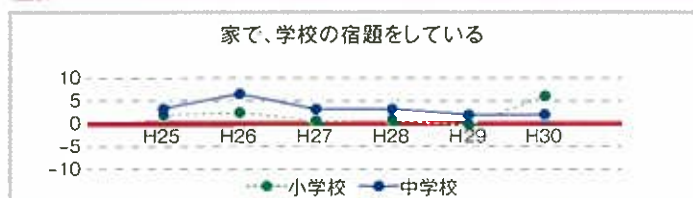
左表は国語と算数(数学)のA問題・B問題と理科の調査結果(平均正答率)を全国の結果と比較したものです。

A問題は主に「知識」に関する問題、B問題は主に「活用」に関する問題です。

平成30年度、本市の小学校6年生の結果は、全国平均より全て低い結果となりました。中学校3年生は、ほぼ同じか若干低い結果となりました。算数・数学に共通の課題が見られます。ここ数年、中学の結果は上昇傾向にあります。スクラムの成果が表れていると考えます。

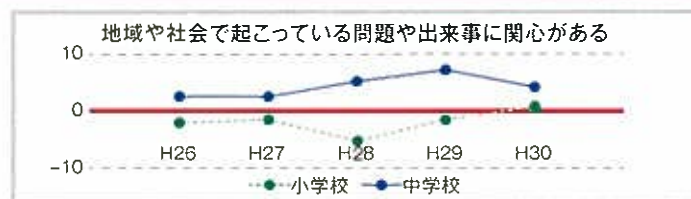
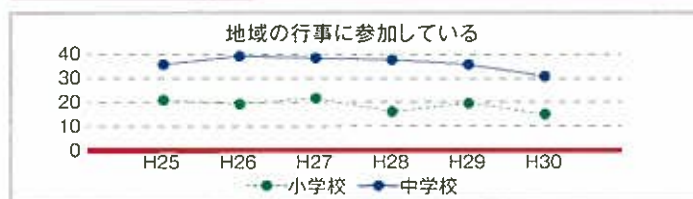
全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙から見えること

主体的・計画的に自己課題へ取り組む力



「家で、学校の宿題をしている」「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の質問に対して肯定的な回答をした子どもの割合が、御前崎市は全国平均を上回っています。ただ計算をして答えを出す、漢字を書くだけでなく、自分の課題を自覚し、目的意識をもって計画的に宿題に取り組むことができる力を、今後も、家庭と協力しながら高めていきます。

キャリア教育の推進



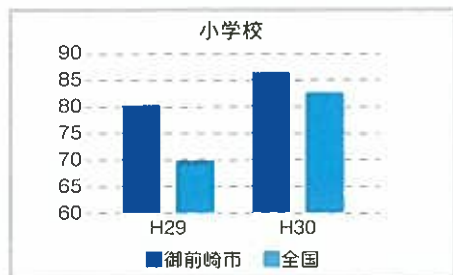
「地域の行事に参加している」の質問に肯定的な回答をした子どもの割合が、御前崎市は全国平均を経年的に大きく上回っています。また、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」の質問に対しても小学生で年々伸びており、全国平均を上回りました。御前崎市では、キャリア教育(※)を推進しています。平成29年度は、中学校では地元企業の方をお招きして、職業講話を行いました。また、小学校でも地域の様々な職業から学ぶ授業を行っています。身近な地域・社会から学ぶことで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」がより高められると思います。今後も、学校と地域がつながりをもって、子どもたちの学びを深めていきたいと思しますので、ご協力よろしくお願いします。

※キャリア教育…将来、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現するための力を身につける教育



ゲーム障害・ネット依存への危惧

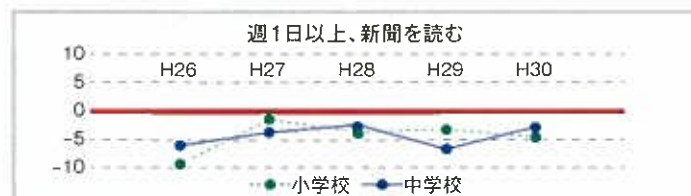
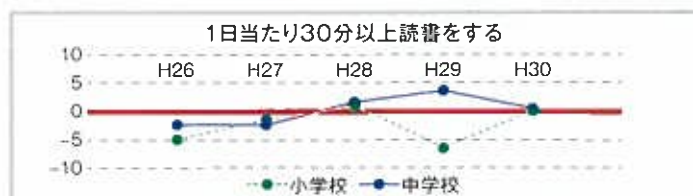
週末に何をして過ごすことが多いですか(テレビやビデオ・DVD、ゲーム、インターネットを選んだ割合)



「週末に、テレビやビデオ・DVD、ゲーム、インターネットをして過ごすことが多い」と回答した子どもの割合が、全国でも高くなっていますが、御前崎市はさらに高いです。

それに比べて、「読書をする」と「新聞を読む」子どもの割合は全国平均に比べて低いです。

様々なメディアのよさを知り、選択して活用できる力を身につけられるといいです。



【これから求められる学力とは?】(10年前と平成30年度の問題を比較)

平成20年

- (1) $132 - 124$
- (2) 52×41
- (3) $6 \div 0.5$
- (4) $68.4 \div 36$
- (5) $3 + 2 \times 4$
- (6) $2 \div 3$

正しく計算をして
答えを出す力

市平均正答率 77.8%

平成30年 [小学校] 算数A

答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を、下の1から4までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

- 1 1mの重さが12kgの鉄の棒があります。この鉄の棒0.8mの重さは何kgですか。
- 2 0.8Lで板を12㎡ぬることができるペンキがあります。このペンキ1Lでは、板を何㎡ぬることができますか。
- 3 赤いテープの長さは12cmです。白いテープの長さは、赤いテープの長さの0.8倍です。白いテープの長さは何cmですか。
- 4 長さが12mのリボンを0.8mずつ切っていきます。0.8mのリボンは何本できますか。

計算の意味を正しく理解して計算を活用する力

市平均正答率 33.6%

【ノートの一部】

○地元の野菜や果物などを
使った新しいおかしを せ 極的
に開発している。

積

3 責 績 積

市平均正答率

45.5%

文脈の中で漢字を正しく選んで使う力

- 1 三角形の面 せ を求める。
- 2 大会でよい成 せ を残す。
- 3 せ 任の重い仕事をする。

平成30年度 [小学校] 国語A

【ノートの一部】の「部」と同じ
漢字は、どれか、1〜3から選
びましょう。

市平均正答率

71.7%

漢字を正しく読んだり書いたりする力

- (1) ボールを な げる。
 - (2) かぜを よ ぼうする。
 - (3) 駅まで歩いて お つくする。
- 二次の「部」のひらがなを漢字に
直して、ていねいに書きなさい。
- 一次の「部」の漢字をひらがなで
答えなさい。
- (1) 自然を 保 護する。
 - (2) 全員が す ぐに 承 知した。
 - (3) 水が 勢 いよく 流 れる。

平成20年度 [小学校] 国語A

- ◆ただ繰り返す単純作業(計算を解く・漢字を書く)はAI(人工知能)の発達等で役に立たなくなると言われています。
- ただ計算方法を覚えて答えを出す ●ただ漢字を覚えて書けるようにする ではなく
- 計算の意味を理解し活用する力 ○漢字の意味を理解し活用する力 など

様々なことに活用できる汎用的な能力を身につけていくことが重要です。



今後も各校で授業改善を進めていきます。

◇第一小学校を中心に算数の授業の研究を進めていきます◇

平成30年度、31年度文部科学省学力向上の研究指定を御前崎市が受けました。第一小が中心校となり、文部科学省、県教育委員会、市教育委員会と一緒に算数の研究を進めていきます。御前崎市の算数の授業で目指す子どもの姿の一例は、次の通りです。

- ◎どうしたら解けるのだろう。なぜ、こういう答えになるのだろう。(疑問を持ち、自分なりの問題を明確にしようとする姿)
- ◎前に習った方法を使ってみよう。(筋道立てて考えようとする姿)
- ◎解決できたけれど、もっと良い方法はないだろうか。(より良い考えを求めようとする姿)

問題を解いて答えを出す力が一般的に重視される傾向がありました。今後は今まで以上に、子どもたちのこういった態度を重視して、日常生活でも積極的に過去の経験に基づいて問題解決をしようとする子どもたちを育てていきたいと思ひます。

- 【具体的な取組】 ○授業改善を目的とした小学生対象の算数学力調査の実施(予定) ○研修先進校への視察
- 大学教授招聘による授業研究 ○園・小・中・高校の職員合同の研究会の実施

保護者の皆様へ

◇「早寝・早起き・朝ごはん」と学力◇

本市では「早寝・早起き・朝ごはん」の推進により規則正しい生活習慣を身につけ、子どもたちが力を最大限発揮できるようにすることをめざしています。

あわせて、読書や新聞を読むことを推奨していき、規則正しい生活習慣が確立され、読書や新聞を読む時間が増えることで、テレビ・ゲーム・ネットの利用時間も自然と減っていくことをめざしていきます。